

回覧

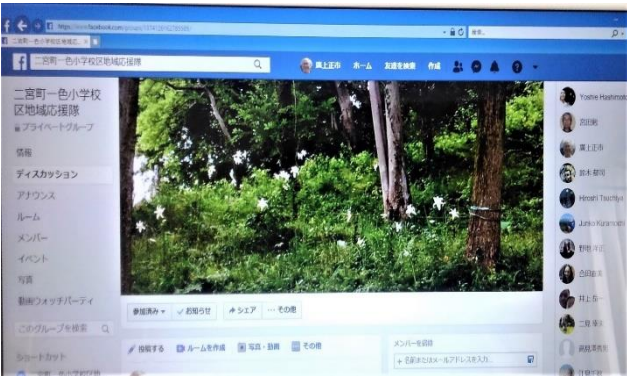
地域再生 協議会だより

百合が丘 2-29-6(老人憩いの家) 59-9356(火・金午前) issniki-saisei@grace.ocn.ne.jp

Facebook に「地域応援隊」

参加型のネットコミュニティ目指す

再生協議会は SNS の Facebook に、グループページ「二宮町一色小学校区地域応援隊」を立ち上げた。これまで講座やイベント開催を中心に活動してきたが、スマホの急速な普及などに合わせて住民同士が SNS 上で情報を共有し、参加・交流する場を設けることにした。Facebook に登録すれば、誰でも閲覧し、投稿できる（もちろん無料）。多くの方に利用してもらい、「元気な住みよいまちづくり」に役立てたい考え。



「応援隊」のトップページ

「地域応援隊」は8月半ばにスタート。スマホやパソコンから Facebook に入り、「二宮町一色小学校区地域応援隊」を検索すれば見ることができる。写真やメッセージを投稿するのも難しくない。すでに50人がメンバーになっており、まずは100人以上を目標にする。協議会の廣上正市事務局長と橋本由恵・一色小コミュニティスクール運営協議会会長が運営に携わる。

協議会は昨秋、二宮 IT クラブとともに「にのみや地域情報（にのっち）」を開設し、協議会の HP や「まちかどブログ」を運用中。毎日60-70件のアクセスを確保している。ただ、イベントや会合開催の制約によって住民交流の機会がしばむ中で、日常生活を含めた身近な情報を共有できる仕組みが必要との声が出ていた。この地域ネットインフラは一色小学校区をベースにするものの、対象を二宮町全体に広げていく。

協議会だよりを読まれた皆様、まずは Facebook で検索してみてください。

「ポスト協議会」の議論始まる



第2期事業終了（R3年度末）後の協議会活動についての議論が本格化している。検討の場である拡大部会長会議の顔ぶれを拡充するとともに、議論を取りまとめる三浦憲門議長（写真）を選出。三浦議長のもと、第2回会合から部会長説明を下地にした議論が始まった。

8月5日の第2回では、地域交流、友情の山、空き家対策の3部会長が新型コロナウイルスによる今年度の事業停滞を踏まえた R3 年度末時点の見通し、それ以後の方向について説明。「一色小地域こうりゅうルームを拠点にしたこうりゅう塾などは自立へ踏み出しているが、協議会解消後に会場費の負担が生ずるのであれば難しくなる」（地域

交流部会)。「稀少ヤマユリ・山野草の保護育成の推進役を一色小CSに移すのが望ましい。活動費の捻出などを含めた詰めが必要になる」(友情の山部会)。「空き家対策は大きなテーマで、地域主導で突破できるとは思えない。現在は町との連携が十分とは言えず、今年度事業の手ごたえを見てその先どうするか考えたい」(空き家部会)などの発言があった。9月初めの第3回は残りの部会長説明をもとにフリートーキングを続ける。

国交省の空き家対策助成・190万円が確定

国土交通省に提出していたR2年度空き家対策助成申請が、7月29日付で確定した。空き家対策部会(廣上部会長)の申請について採択内定が得られていたものの、事業内容や経費の細部についてやり取りが行われ、このほど正式申請が受理された。同事業の助成は3年連続。今年度は「町外居住者の呼び込み」を組み込んだ内容になっており、人口漸減の課題を抱える二宮町と連携をとりつつ、事業実施に踏み切る。

助成対象事業名は、一色小学校区地域空き家等循環再生事業。支給上限額は1,901千円。国

■応募事業の補助の期間内の事業実施工程		令和2年度												令和3年度											
事業項目	具体的な取組内容	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月			
		①	研修会・シンポジウムの企画・交渉(新型コロナ対策含む)																						
①	研修会・シンポジウムの広報・開催																								
③	移住促進キャンペーンのための協力組織結成																								
③	コンソーシアムの目指す方向性の企画																								
③	循環居住支援のためのコンソーシアム形成																								
③	ワーケーション・プログラム全体の企画(新型コロナ対策含む)																								
③	広報・募集活動																								
③	ショートスティypeゲストハウス(体験住宅)の確保・提供																								
③	コワーキング・スペース&二宮食カフェの提供																								
③	地域体験ツアー、交流会等の企画実施																								

交省によると、今年度は117件の応募があり、採択されたのは59件。計画では、①「住まいの終活・利活用読本」を活用した研修会・シンポの開催 ②移住・循環居住を支援するコンソ

ーシアムの形成 ③ワーケーションプログラムの提供による移住促進——を柱にしている。9月初めに部会を開催し、ウイルスの収束状況をにらみながら、図にある事業を手掛ける。

来年のラディアン・やまゆり里山音楽祭・11月6日(土)

新型コロナウイルスで開催が延期になっていたラディアンでのやまゆり里山音楽祭の開催日が、R3年11月6日(土)に決まった。ラディアンの開館20周年を記念した企画で、これまで一色小学校で開催していた音楽祭を全町化する。町内の有力タレントを中心にプログラムを組み、やまゆり合唱団なども出演する。本番まで相当時間があるので、プログラム、出演者など周到に準備する。

一色小・ヤマユリ公開、来場者320人

友情の山部会(岡村昭寿部会長)が7月末に開いた一色小・ヤマユリの一般公開は、降雨による日程短縮、外出自粛による影響があったものの、ほぼ予定通り開催できた。23日(木)からの4連休開催のうえ、咲き具合がよかったこともあり、4日間の入場者数は320人に達した。リピーターや近隣市町から来られた方も多く、町外からは全体の3割程度に達した。

会場内の誘導は百合1、2、緑が丘、一色の公園愛護会がマニュアルに沿って対応した。入場者へ注意を払いつつ、カラー冊子「友情の山の山野草たち」も展示し、80冊近く販売できた。